

授業科目名 ( 英文名 )	外書演習 ( Advanced seminar )	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	辻川 尚起	所属	経営学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p><b>講義目的</b> このゼミは、外書(外国語を用いた文献資料)の側面ではビジネスやマネジメントを数値化して評価したり目標設定したりすることの意義や利用方法などを英語教材を活用して学び、演習(ゼミナール)の側面ではほとんどの回でグループワークを通してブレインストーミングや議論のルールとマナー、プレゼンテーションのコツ、一人じゃなくてみんなとだからできることに取り組むことを目的としています。 また、このゼミでは、いわゆるテキスト輪読形式よりもPBL( Project Based Learning : 課題発見・解決型学習)を重視し、ほぼ毎回グループワーク中心のディスカッション形式で進めます。</p> <p><b>到達目標</b> 講義目的で示した2つの目的をグループワークを中心に1年間ゼミを進め(後期の一部は文献輪読もあります)、3・4回生の演習やビジネスパーソンになってからも必要なスキルをトレーニングし、おもむくに身につけることを到達目標とします。 僕の専門は会計学ですが、このゼミにはグローバルマネジメントコースの学生も参加すると予想されるので、簿記や経営分析の会計知識をしっかりと身につけることよりも、ビジネスやマネジメントのプロセスや結果を数字で読み解こうとする姿勢やマインドを意識できるようになることを、このゼミでは大事にします。</p>		
講義内容・授業計画	<p><b>講義内容</b> 前期は、ビジネスパーソンに求められる、「気づき」と「論理的思考」の意義と方法を、英語(ときに日本語も)の文献資料・関連教材を活用しながら、グループワークを中心に学びます。 後期は、ビジネスやマネジメントにおいて、「数字で見える化」することの意義と方法を学ぶため、文献資料の精読と発表、具体的なプロジェクトを通じたグループワークを中心に進めます。</p> <p><b>授業計画</b> 第1回 前期のオリエンテーション 第2-8回 ディベートやビデオ教材を利用したグループワーク 第9-15回 ビジネスゲームを通じたグループワーク 第16回 前期の復習と後期のオリエンテーション 第17-23回 数値目標を立てることの意義を学ぶ英語文献の輪読とグループワーク 第24-30回 数値目標の利用方法と長所・短所を学ぶグループワーク 第31回 評価</p>		
テキスト	必要に応じ、紹介・配布します。		
参考文献	必要に応じ、紹介します。良い本との出会い方、探し方も一緒に考えましょう。		
成績評価の基準・方法	<p>グループワークや課題への取組70%、クラスへの貢献度30%を総合して評価します。 なお、成績評価に関しては、この講義に対する下記のような理解度を目安とします。 (S・秀)講義内容を網羅的に適切に理解し、発展的・実践的に活用することができる。 (A・優)講義内容のうち、基礎的・応用的な事項の理解ができており、活用することができる。 (B・良)講義内容のうち、基礎的・応用的な事項の理解がおおむねできている。 (C・可)講義内容のうち、基礎的な事項の理解がおおむねできている。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>つねに「明るく楽しく役に立つ」ゼミであるよう心がけたいと思います。また「よく遊び、よく学べ」の精神で、ゼミ生にゼミイベントを積極的に企画・実施・参加してほしいとも思っています。 一座建立という言葉があります。僕の経験では、ゼミナールへの満足度が、短い大学</p>		

	<p>生活での満足度に占める割合は大きいです。教員だけではなく、ゼミ生みなさんの誠実さとやる気が、1年後、ゼミナールに対する満足度を紡ぐのだと思っています。</p> <p>また、予習・復習が必要となることは当然のことであり、特に科目の性質上、復習を重点的に行うことが講義の理解度を高めるために求められます。</p>
実践的教育	該当しない
備考	<p>担当教員の専門領域は会計学ですが、このゼミでは、会計に特化した内容ではなく、冒頭で述べたような内容を扱いますので、簿記が苦手な方も大歓迎です。</p> <p>このゼミに少しでも興味・関心や質問のある方は、研究室訪問期間に、メールでご連絡ください。</p>